

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		環境と共生できる産業の支援			款	3	項	5	目	1	事業	5	整理番号	94						
担当部課名		区民生活部産業経済課			係名	商工係			連絡先電話番号	3078			昨年度整理番号	116 枝番号						
上位施策No・施策名		44 新しい産業の育成・支援			予算事業区分															
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	14	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	2	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等	(1) 杉並区創業支援施設運営要綱 (2) 職業安定法													
	事業の目標	（対象をどのような状態にしたいのか） 創業支援 杉並区内で創業、起業したいという気運を高める事により、都市型ビジネス事業者の開業を促す。 就労相談 求職者に対し自己に適した職業選択や就労に関する様々な相談・情報提供を行い、就職に結びつける。				活動指標名(式)	(1) 講座・セミナー実施回数 (2) 就労相談実施日数													
	活動内容	（事務事業の内容、やり方、手順） 創業予定者及び創業後間もない人に対するSOHO事務所の貸与 創業を志す人を対象とするセミナー開催による、起業のための基礎的な知識や情報の提供 就労に関する専門相談員(キャリアカウンセラー)を配置した就労相談を毎週行い、自己に適した職業選択や就労に関する様々な相談・情報提供に応じる。				成果指標	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 講座・セミナー参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 就労相談利用者数 算定式・指標の説明等													
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%							
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度									
指標	活動指標(1)	回	7	8	8	4	10	4	4	250.0	250.0									
	活動指標(2)	日	51	51	51	52	48	48	52	92.3	92.3									
	成果指標(1)	人	229	200	171	200	137	200	200	68.5	68.5									
	成果指標(2)	人	150	306	129	312	143	288	312	45.8	45.8									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	14,239	18,007	12,387	11,324	10,364	12,222	20年度予算執行率%			91.5								
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項											
	(内)委託費	千円	4,061	4,088	2,645	4,874	4,554	4,790												
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.86 0.00	1.80 0.00	1.89 0.00	1.80 0.00	1.90 0.00	1.90 0.00												
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	16,852	16,452	17,275	16,290	17,195	17,195											
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0											
	総事業費	千円	31,091	34,459	29,662	27,614	27,559	29,417												
	単位あたりコスト	円	4,441,571	4,307,375	3,707,750	6,903,500	2,755,900	7,354,250												
	財源	受益者負担分	千円	3,057	3,111	3,111	3,111	2,976	2,943											
		国からの補助金等	千円	0	0	0	0	0	0											
		都からの補助金等	千円				0	0	0											
		その他の補助金等	千円				0	0	0											
特定財源計		千円	3,057	3,111	3,111	3,111	2,976	2,943												
差引:一般財源		千円	28,034	31,348	26,551	24,503	24,583	26,474												
受益者負担比率	%	9.8	9.0	10.5	11.3	10.8	10.0													

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 94

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	阿佐谷キック・オフ/オフィス運営	9
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	起業家養成講座	2	回	1,484
	起業準備セミナー	1	回	300
	就労相談	48	回	1,111
(2)事業実績	キック・オフ/オフィスは、入居期限満了で空室が発生すると入居希望者が必ず有り常に満室の状況が続いています。 起業支援セミナーは、中小企業診断士等の専門家を講師として起業を目指す方々に役立つ実践的な講義内容で実施しています。 就労相談 専門相談員(キャリアカウンセラー)が区民の就労等に関しアドバイスをを行い、就労支援を行います。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	今後の予測
	阿佐谷キック・オフ/オフィスは、JR阿佐ヶ谷駅前という立地条件及び施設内の情報通信環境も整備されており、入居者から好評です。入居者の事業分野は、情報通信・コンピュータソフトなどが多く、入居者同士の仕事のやりとりもあります。入居者のうち、6事業者が区内で起業しました。	起業家養成講座は受講者によって起業意識に差があるため、受講者のニーズにあった講座内容が望まれています。また、講座参加者からは、区からの援助・委託事業などを期待する声があります。就労相談では、履歴書の書き方や面接のノウハウなど、実践的な指導により就職に役立ったとの声が寄せられています。	会社創業時の資本金額の要件緩和や団塊世代の大量退職などにより、起業を目指す人は今後、増えていくことが予測されます。このような状況に区として対応し、支援をしていくために当事業の必要性はますます高まるものと考えられます。また、世界的不況の中で求人倍率の急激な向上は望めず、就労相談の役割は増すものと推測されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	専門能力を持った団塊世代が果たす役割は地域の課題解決に有効であり、起業を決断する際のきっかけとなります。また、就労相談は、求職者を支援することで産業経済の基盤整備に貢献しています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	セミナーの実施方法の見直しを行い、内容・講師など全体をコーディネートする団体等と調整しながらすすめます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	講座・セミナーの参加者からすでに参加費を徴収しています。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	講座参加者からは、すでに必要な経費について一部負担金として徴収しています。NPO等に事業の委託を行ってコストの低減を図っています。予算の範囲内で内容の充実を図っていきます。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題
阿佐谷キック・オフ/オフィスやセミナーの開催により、創業の円滑化及び創業期の経営の安定に寄与しています。課題として、創業後などに杉並区外に転出する事業者もあり、区内への定着につなげるための制度運用が必要です。 急激な景気悪化により、企業の採用控えや求職者の増加など就労をめぐる環境は一層厳しいものとなっています。求職者支援の必要性は高まっており、他機関と連携しながら、セミナー等の施策を実施する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	「起業準備セミナー」を新たに実施して、起業関係のセミナーの内容の充実を図りました。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 キック・オフ/オフィスを巣立っていく事業者が、区外に転出せず、区内で事業を継続するように、入居要件や条件の見直しを検討します。また、インキュベーションマネージャー、都や国など支援事業と連携しトータルな支援を提供する体制づくりを目指します。							
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	インキュベーションマネージャー、支援体制づくりには、国や都との協議・連携の強化が必要です。								
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	起業支援セミナーの内容充実やキック・オフ/オフィスの運営継続により、企業者や創業後の事業者の支援を行います。							

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	アニメの杜すぎなみ	款	3	項	5	目	1	事業	6	整理番号	95		
担当部課名	区民生活部産業経済課	係名	アニメ係			連絡先電話番号	3077			昨年度整理番号	117	枝番号	
上位施策No・施策名	44 新しい産業の育成・支援							予算事業区分					

事業開始	平成	▼	12年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	3	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	3	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民、アニメ産業関係者、アニメーターを目指す人、アニメに関心のある人													
事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 区内外を問わず多くの人々がアニメーションに関心を持ち、親しんでもらえる機会を提供することにより、「アニメのまち杉並」としての知名度を高め、アニメ産業の振興を図る。													
活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) アニメーションフェスティバルの開催 区内アニメ制作会社の協力によるインターンシップ制のアニメーター育成事業「杉並アニメ匠塾」の実施 東京国際アニメフェアへ出展し、アニメのまち杉並を広くPRする。 区公式アニメキャラクター「なみすけ」を活用し、区内外への区の施策や区のアニメ産業振興に係る情報発信													

区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値 22年度	目標値に対する 20年度の 達成率%	計画に対する 20年度の 達成率%	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画					
指標	活動指標(1)	人	8,054	8,000	8,174	8,000	13,011	8,000	9,000	144.6	162.6	
	活動指標(2)	人	6	8	7	8	8	8	10	80.0	100.0	
	成果指標(1)	人	8,054	8,000	8,174	8,000	13,011	8,000	9,000	144.6	162.6	
	成果指標(2)	人	6	7	4	7	7	7	9	77.8	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	29,787	45,864	44,736	42,967	42,637	21,220	20年度予算執行率% 99.2			
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	千円	17,156	35,889	35,089	33,599	33,299	13,820				
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.18 0.00	2.00 0.00	2.22 0.00	2.00 0.00	2.28 0.00	2.00 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	19,751	18,280	20,291	18,100	20,634	18,100			
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	49,538	64,144	65,027	61,067	63,271	39,320				
	単位あたりコスト (-) ÷	円	6,151	8,018	7,955	7,633	4,863	4,915				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	千円	0	3,000	2,000	1,000	2,000	0			
都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/				
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/				
特定財源計 + + +		千円	0	3,000	2,000	1,000	2,000	0				
差引:一般財源 -		千円	49,538	61,144	63,027	60,067	61,271	39,320				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 95

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内容	規模	単位	事業費(千円)
		アニメーションフェスティバルの共催	1	回	6,000
		杉並アニメ匠塾の委託	6	月	3,748
		東京国際アニメフェアへの出展	1	回	2,000
		モニュメント製作及び設置の委託	6	体	18,225
その他(アニメキャラクター関連グッズの製作・販売ほか)					12,664
(2)事業実績	杉並アニメ振興協議会、東京商工会議所杉並支部、日本動画協会等とともに実行委員会をつくり、第4回目となるアニメーションフェスティバルin杉並2009を開催し、過去最高の約13,000人の来場者がありました。また、アニメ産業に係る人材育成事業である「杉並アニメ匠塾」は7期目を実施し、8名の塾生を受入れ、全課程を修了した7名全員が、区内のアニメ制作会社へ就職しました。さらに、西荻窪地域では「まちづくり交付金」を活用して6体の童子像を設置し、新たな散策ルートを構築しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「アニメの杜すきなみ構想」を立ち上げた当初は、ほとんどの区民が「アニメ」というコンテンツに対し認識を持ち合わせていませんでした。しかし、アニメーションフェスティバルの開催や杉並アニメ匠塾などの実施により、区民の間で「アニメのまち杉並」というイメージが確立されつつあります。また、近年では、アニメが世界に誇れる日本の産業であるとの認識に立ち、区や都が当区の施策に触発されるように東京国際アニメフェアやアニメーター養成プロジェクトを実施するなど、アニメ関連の施策事業を展開し始めています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	マスコミ等の影響で、区内外を問わず「アニメのまち杉並」のイメージが定着したことにより、まちづくりのアイテムとして「アニメ」を取り入れる地域イベント等が増えました。特に、平成18年度に公募により生まれた区のアニメキャラクターは、子育て世代の区民にとって区の施策PRに有効なアイテムとなっており、アニメキャラクターを活用した事業の実施を期待しています。
	今後の予測	アニメーター育成事業として始めた杉並アニメ匠塾も今年度8期目を迎え、多くの若きアニメーターを輩出しているが、今後は匠塾出身者による区のアニメキャラクター「なみすけ」を使ったアニメ制作やアニメーションミュージアムでのアニメ制作ワークショップの常設など、これまでのアニメ関連事業を連携するなど、相乗効果を生み出せるよう事業の連携を検討していきます。また、観光の分野で、アニメを資源としたミュージアムを拠点とする西荻窪、上井草の観光ルート作りの構築など、新たなアニメ産業への試みも検討していきます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	
	貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 アニメを活用したイベントの実施や、人材育成等の取り組みにより、アニメ産業集積地としての杉並区を区内外に大きくアピールすることができました。また、区の取り組みにより国や都もアニメが世界に誇れる産業であると認識し、さまざまな施策を打ち出しました。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	ある程度できる( )
	成果向上のための方策	ミュージアムやモニュメントを設置した上井草・西荻窪地域などアニメに関わる資源がある地域を連携することにより、アニメ観光ルートの構築など、新たな展開を図ることができます。また、アニメ振興協議会を母体とした匠塾出身のアニメーターをスタッフとしたアニメ製作ができるように、匠塾出身アニメーターのネットワークを構築します。
	手段・方法の変更(具体的内容)	ワークショップ実施時の材料費やモニュメントの維持管理など、現在でも受益者負担による事業を実施していますが、今後は有料でも見たいと思う魅力あるイベント等を企画し、受益者負担の可否について検討を行います。
(3) 受益者負担の見直し余地は	ある(具体的内容)	
(4) コストを下げる余地はあるか	ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	
(4) コストを下げる余地はあるか	ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	アニメキャラクター「なみすけ」を使用することを民間企業に許可しているが、民間企業で開発、販売される商品が増えれば、ロイヤルティ収入が得られる他、区が独自に商品開発する必要がなくなります。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	十分に実現している
	(2) 協働等の相手	社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)
(3) 協働等の形態	協働[実行委員会・協議会]	
(4) 協働等の今後のあり方	実施継続	

評価と課題	「アニメの杜すきなみ構想」のもと、地場産業であるアニメーション産業の振興・支援としてアニメーションミュージアムの開設、アニメキャラクター「なみすけ」誕生など、アニメに関する情報発信に成果をあげることができました。施策への取組から10年目の節目を迎え、これまでの成果を検証し、今後の自治体におけるアニメ産業振興施策のあり方について検討を行っていきます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増 ○ 現状維持 ○ 減	コスト:	○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	アニメーションミュージアムの集客に大きく貢献しているアニメーションフェスティバルでは、アニメソングコンサートを開催したり、メジャーなキャラクターのコーナーを開設するなど、プログラムの拡充を図りました。西荻窪地区において、新たな観光資源となるモニュメントを設置し、モニュメントを象徴するキャラクターと区のアニメキャラクター「なみすけ」とコラボレーションしたイベントを開催するなど、西荻窪・アニメーションミュージアム・上井草の観光ラインが構築されました。		
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	西荻窪地区のモニュメントと上井草地区のモニュメントそれぞれのイメージを生かしつつ、ミュージアムを拠点とした観光ルートづくりを検討していきます。特に上井草地区については隣接区の練馬区大泉にオープンした「東映アニメミュージアム」も視野に入れたアニメ探訪ルートを構築していきます。また、アニメ匠塾については、今年度8期目を迎え、塾生の中には原画を担当する者も増えているため、塾生出身による区公式アニメキャラクター「なみすけ」を用いたアニメ制作などを検討していきます。		
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	アニメを観光資源として町興しを行うためには、地域全体がアニメに対する関心を持つことが必要ですが、地域全体には浸透できていません。また、アニメに関しては著作権に関する大きな問題が障害となっており、キャラクターを用いたグッズ販売など容易には展開できません。隣接区の練馬区等を巻き込み、版權を持つ複数の大手製作会社の協力を得ることで、アニメで人を呼ぶことができる観光資源を発掘することができると考えます。			
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	(2) 理由 新たなアニメのまち杉並の魅力を見出すため、杉並区のみにとらわれず近隣区市とも連携した事業を展開していくことを検討します。また、これまでの、育成するまでの事業だった杉並アニメ匠塾においては、塾出身アニメーターの協力を得て、アニメキャラクター「なみすけ」を活用した事業を展開するなど、区のアニメ施策の連動を図ります。	

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		アニメーションミュージアム運営			款	3	項	5	目	1	事業	7	整理番号	96		
担当部課名		区民生活部産業経済課			係名	アニメ係			連絡先電話番号	3077			昨年度整理番号	118 枝番号		
上位施策No・施策名		44 新しい産業の育成・支援			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等 (1)										
	区民、アニメ産業関係者、区外来場者					根拠法令等 (2)										
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					活動指標名(式)										
幼児から中高年まで幅広い世代にアニメを親しむ機会を提供し、アニメに対する関心を高めてもらうとともに、「アニメのまち杉並」を広くアピールしていく。					(1) 年間来場者数											
					(2) 開館日数											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
アニメの歴史、制作工程や技法などの紹介映像等を常時展示公開する。 アニメ制作が体験できるワークショップなどの開催 アニメの常時上映(150インチアニメシアター)と様々なアニメが鑑賞できるライブラリーの開設 四半期ごとに著名なアニメ作品に係る企画展などの開催やそれに伴う著作権調整(日本動画協会に運営を委託)					成果指標名(1) 1日あたり来場者数											
					算定式・指標の説明等											
					成果指標名(2)											
					算定式・指標の説明等											
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		22年度					
指標	活動指標(1)		人	48,171	50,000	50,214	50,000	53,785	50,000	55,000	97.8	107.6				
	活動指標(2)		日	306	307	307	306	305	306	306	99.7	99.7				
	成果指標(1)		人	158	163	164	164	177	164	180	98.3	107.9				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	62,111	68,078	66,491	76,431	75,276	67,904	20年度予算執行率% 98.5						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	48,326	57,074	56,966	61,587	60,902	59,249							
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.09 0.00	1.00 0.00	1.11 0.00	1.00 0.00	1.14 0.00	1.00 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	9,875	9,140	10,145	9,050	10,317	9,050							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	71,986	77,218	76,636	85,481	85,593	76,954							
	単位あたりコスト (-)÷		円	1,494	1,544	1,526	1,710	1,591	1,539							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	16,666	2,000	2,000	1,000	1,000	0						
		都からの補助金等		千円												
		その他の補助金等		千円												
特定財源計 + + +		千円	16,666	2,000	2,000	1,000	1,000	0								
差引:一般財源 -		千円	55,320	75,218	74,636	84,481	84,593	76,954								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 96

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		アニメーションミュージアム運営委託	12	月	47,575
		施設維持管理(保守・警備・総合管理等)委託	12	月	8,835
		ホームページ及び展示物等リニューアル委託	1	回	3,009
		アニメ資料収集	4	回	1,948
その他(光熱水費・通信運搬費電話料等・広告料・賃借料ほか)		13,909			
(2)事業実績	修学旅行や体験学習など、区外からの来館者を積極的に受け入れるよう体制を整え、海外からの来館者用には常設展示の説明版に4カ国(日・英・中・韓)の説明文を加えて掲示しました。また、定例の企画展とは別に、特色あるアニメ作品のミニ企画展の実施やワークショップの充実を図り、新たなアニメファンの発掘に取り組みました。さらに、展示許諾を受けている著作物の版權更新を行い、アニメの歴史年表やアフレコブースなど常設展示の一部をリニューアルしました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成16年度末に、杉並区のアニメーション産業振興の核となる施設として「杉並アニメ資料館」から「杉並アニメーションミュージアム」としてリニューアルオープンしました。同時に事業の拡充に伴い、運営を「日本動画協会」に委託しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	アフレコブースやライブラリーなどの常設コーナーの他、企画展、ミニ企画展、ワークショップ、各種イベントの来場者の満足度は高いといえます。一方で交通不便な立地条件への不満や、大型バスが長時間駐車できる場所の確保などの要望があげられています。
	今後の予測	今後は、隣接区の練馬区大泉にオープンした「東映アニメーションギャラリー」も視野に入れて、上井草駅前に設置した「ガンダムモニュメント」、アニメーションミュージアムを結んだアニメ探訪ルートづくりを動画協会、鉄道事業者と連携して取り組んでいきます。また、女子美術大学など美術系の学校などと協力し、ミニ企画展やワークショップの開催などを検討し、新たなアニメの魅力を発信します。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか		左の理由または具体的内容			
	貢献度 大(理由)	▼		区内小中学校の課外授業や職場体験のほか、修学旅行や海外からの見学者が年々増えています。さらに、19年度から実施している、海外の中高生を対象とした短期留学生の体験学習コースは好評を得ており、毎年500名を超える参加者が訪れています。また、多様なワークショップを開催し、アニメに対する理解を深める機会を提供しています。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	できる(へ)			▼	
	成果向上のための方策	手段・方法の変更(具体的内容)			▼	運営を委託している日本動画協会で、各アニメ制作会社から提案を受けた企画を活用することで、コストを抑えます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は	ある(具体的内容)			▼	ワークショップの材料費やトークショーなどのイベントなどの経費の実費分について、自己負担を設定することを検討します。
(4) コストを下げる余地はあるか	ある[手段・方法の変更](具体的内容)	▼	各アニメ制作会社が、寄贈を申し出ている資料を選別、保管、展示する場所があれば、資料収集に関する経費を下げることは可能です。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	十分に実現している	▼	(2) 協働等の相手	社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	▼
	(3) 協働等の形態	委託[業務量の50%以上に相当]	▼	(4) 協働等の今後のあり方	実施継続	▼

**評価と課題**  
 来場者は、開館以来増加傾向を示しており、最近では修学旅行の学生や体験事業の受け入れ又はアニメに興味を持つ海外からの来館者など、区外からの来館者が増えていることが分かってきました。今後は、これら区外からの来館者もリピーターとなるような展示企画を展開していくなど、区内外に対し、アニメのまち杉並の知名度向上を図るとともに、アニメーションミュージアムがアニメに関する情報の発信地となれるように、常に情報収集に努めていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増    ○ 現状維持    ○ 減	コスト:	○ 増    ● 現状維持    ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	各アニメ制作会社からも今までの実績の評価をされており、企画展やイベント、さらにミニ企画展などの充実を図ることができました。また、スタッフの熱意もあり多様なワークショップを開催し、来場者からも人気を得ています。			
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	今後も、日本動画協会を中心に各アニメ制作会社に働きかけ企画展やイベント、ワークショップなどの充実を図っていきます。一方、女子美術大学などと連携をとりミニ企画展やイベント、ワークショップなどを開催し、新たなアニメの魅力を紹介していきます。			
	(3)改革案を実施するにあたっての障害要因と克服方法	ミュージアムの集客に欠かせないアニメ作品の企画展示では、著作権が絡んでいるため自由に企画を立てることができません。業界とのつながりが深い日本動画協会に企画運営を委託することで、著作物の使用に関する調整が円滑に行えるため、著名な作品の展示が可能となります。また、女子美術大学などアニメ制作に関係のある大学等と連携を図り、学生が製作した作品の展示やミュージアムの催し・体験事業への協力を得ることで、来館者は新たなアニメの魅力を発見でき、大学側は、アニメを通じて大学の魅力を謳うことができます。			
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増    ○ 増    ● 増減なし    ○ 減    ○ 大幅減    ○ 予算なし	(2)理由	企画展やワークショップなどを充実させることはもとより、各美術系の大学に働きかけアニメの新たな魅力の発信に努めていきます。	